

名古屋市

西部地域療育センターだより

No.24

正面壁画「友情」より

平成23年度を迎えて

所長 鷺見 聡

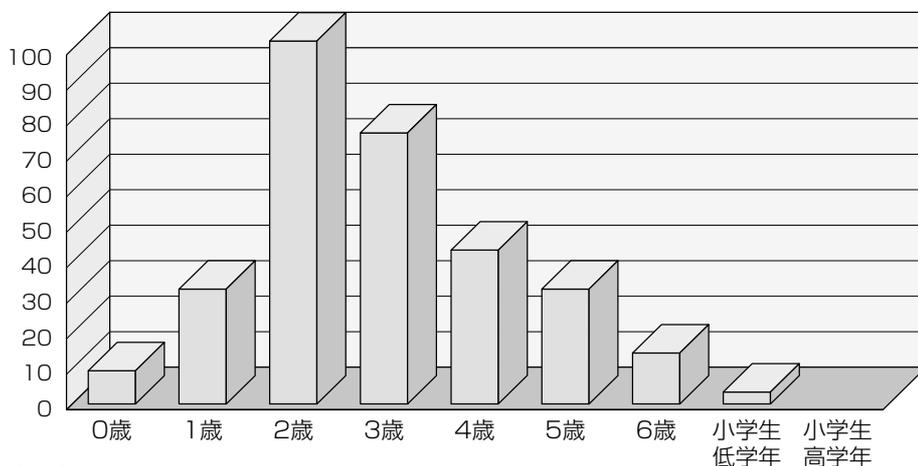
3月の東日本大震災で被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。被災地が一日も早く復興し、落ち着いた生活が戻り、子どもたちにも笑顔が戻ることを祈っています。

西部地域療育センターでは4月から新年度になりました。そして、新しいお友達も加わった通園（キララ）や療育グループが始まりました。初めてグループに参加し

たお子さんたちも新しい環境になれてきたところだと思います。また、センターのスタッフにも新年度から新しい仲間が加わりました。20代の若手スタッフからベテランのスタッフまで、いろいろな個性を持ったスタッフが子どもたちをサポートします。どのスタッフも子ども好きで、子どものために一生懸命頑張るつもりです。今年度もよろしくお願いします。

平成22年度新規相談の概要（1）

年齢別新規相談件数



総件数
295件

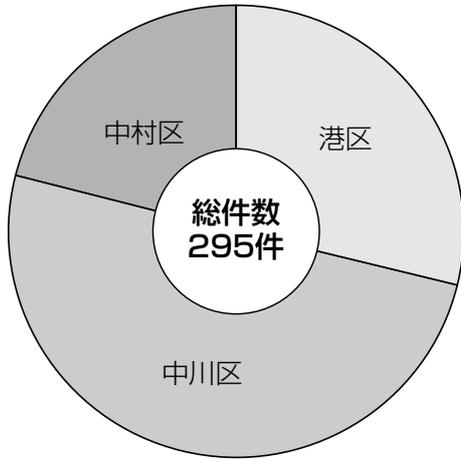
■年齢別新規相談件数

(単位:件)

年齢	就学前児童						小学生		計	
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	低学年		高学年
計	7	30	100	74	41	30	12	1	0	295

平成22年度新規相談の概要(2)

区別新規相談件数



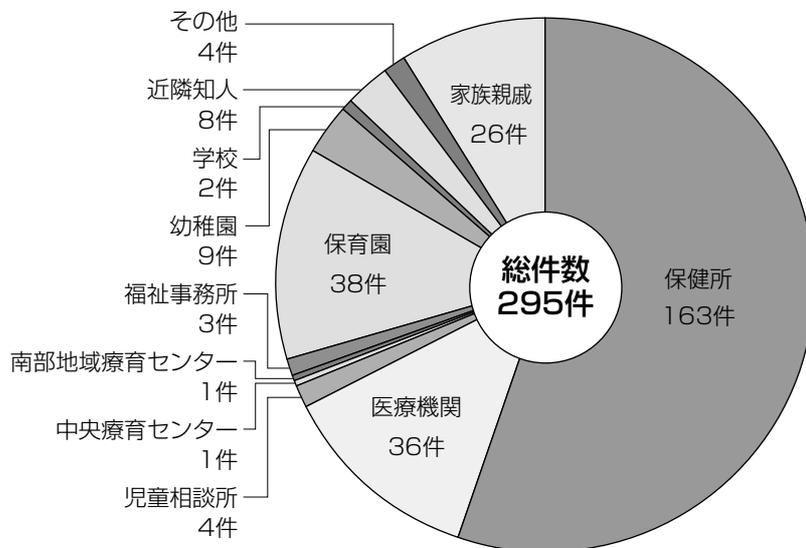
■年齢別・区別新規相談件数

(単位:件)

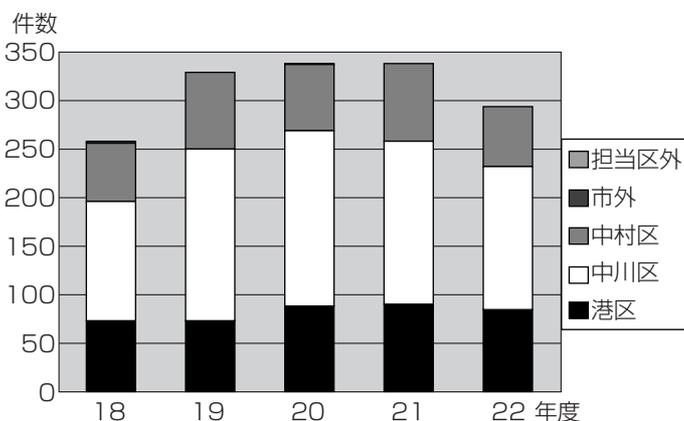
区	就学前児童							小学生	計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	低学年	
中村区	1	6	17	20	7	7	4		62
中川区	6	15	55	29	20	17	5	1	148
港区		9	28	25	14	6	3		85
担当区外									
計	7	30	100	74	41	30	12	1	295

平成22年度新規相談の概要(3)

紹介経路別新規相談件数



過去5年間の新規相談件数の変遷



(単位:件)

区	年度	18	19	20	21	22	計
中村区		60	79	68	80	62	349
中川区		123	177	180	168	148	796
港区		73	73	88	90	85	409
市外		2					2
担当区外				1			1
計		258	329	337	338	295	1557

メタ言語とことば遊びについて考える

南部地域療育センターそよ風所長 堀江重信

メタ言語（1）序章

私が最初に「メタ言語」に出会ったのは、言語学者の池上嘉彦氏の文章だと思う。最も短く要約すると、「普通のことばを対象言語といい、言語の言語をメタ言語という。つまり言語を分析の対象としてとらえ、言語について話すために使用する言語をいう。」といった解説であったように思う。ここまではよいとして、そのあとの例がいわゆる「ことば遊び」で満ちていた。だから、私はメタ言語=ことば遊びと思ったくらいだ。今から紹介することば遊びの例は、すべて池上氏のものであるかどうか定かではない。

ことば遊びの例

「ゆうごはんはなんじですか」（5字）

「このいとはなににいますか」

（紫。此と糸をたてに書くと紫）

「さかなのまんなかはなんですか」（「か」）

「せかいのまんなかにあるこんちゅうは？」

（「か」=蚊）

「いなかのなかにあってとしになく、

せかいにあってうちゅうにないものは？」（「い」）

「0と0の間が高いアメリカの州は？」

（オハイオ州、ハイ=高い）

「えを書いてごらん」「え。」

本当は絵をかくべきなのに。

「ちゃんと書いてごらん」。「ちゃん」。

いうべきことをきちんとという意味なのに。

アメリカの少女がある日学校で「赤ちゃんのつくりかた」を教わってきた。それをきいた母親は一瞬ぎよっとするが、平静を装って、「どうやってつくるの？」とたずねた。少女は「babyの複数の作り方はbabyの最後のyをとり、iesをつければよいのよ」と得意げに答えた。

母親の発想は対象言語的であるからぎよっとするが、これは言語について論じている言語（文法）であるからメタ言語であり何ということはない。

妹が小さかったころ、母と一緒にいったお風呂で一。「ほらこんなにあかがでたわよ」「あかじゃないよくろだもん」・・・よっぽどきたなかつた！？（毎日新聞社編：「子供のつづやき」1989、p148）

「ほらこんなにあかがでたわよ」「あかじゃないよくろだもん」はいずれも対象言語である。この対象言語を言語で論ずると、つまりメタ言語意識で見ると、あかは複数の意味があって面白い（ことば遊び）ということになる。

子どものさりげないことばの中にはこうした面白い例が多い。上記の本からいくつか引用してみよう（p152）。

テレビでハーフの外国人の両親の国をそれぞれあてるクイズをやっていました。そこで3歳6ヶ月の娘に、「お父さんとお母さんは何人？」と質問したら、答えは「愛人」!!

ベランダにいる娘（3歳）に、「お父さんおじさまタクシーだよ」と呼ばれて、主人が外を見た。「タクシーなんてとまってないよ」「ここ」指さすところにおたまじゃくしが泳いでいた。

言語感覚とメタ言語

言語について論ずるのがメタ言語であるから、その成果は言語理論として体系化されつつある。言語理論の各分野は、意味論、形態論、統語論、音韻論、語用論であるから、メタ言語の成果はそれぞれの成書で学べばよい。しかしメタ言語意識についての研究は発展途上である。また「ことば遊び」についてはメタ言語としても、メタ言語意識としても発展途上どころの話ではない。そして筆者の関心は子どものことば遊びのメタ言語意識の発達にある。この小文においては、次のように展開したいと思う。

1. 序章
2. 第2章 メタについて
3. 第3章 メタ言語の各領域
4. 第4章 メタ言語の臨床
5. 第5章 ことば遊び
6. 終章 子どものことば遊び

メタ言語（2）

ここで一旦メタ言語についてはお休みにして、「メタ」について考えてみよう。メタというのは、「高次な～」、「超～」、「～間の」、「～を含んだ」、「～の後ろの」、「～についての」などを意味する接頭語である。メタ言語以外にどんな使用例があるだろうか。メタ言語は言語の言語であるが、メタ認知は認知の認知である。つまり自分が何を考えているか分かるということである。「自覚」といってもよい。通常は9、10歳ごろ発達する。メタ記憶ということばもある。これは記憶の方略、記憶の仕方である。低学年の子どもは、大きい声で読んだり、文字に下線をひいたりすれば覚えやすいところえている。高学年になると、他のことばになぞらえて覚えたり（鳴くようぐいす平安京は794年、鎌倉幕府はいい国つくろうだから1192年だと

か、シェークスピアは、その小説のなかでひとごろしをいろいろやったので、その生年と没年は1564年と1616年)、覚えるものを空間に定位して覚えたりする。**メタ道具**については、京都大学霊長類研究所の松沢哲郎氏から学んだ。メタ道具とは簡単にいえば、道具の道具である。チンパンジーは周知のように木の実割りに道具として石を使う。もし木の実を乗せる台の石が傾いていると、石は転げ落ちてしまう。そこで石の表面が水平になるように別の小石を支えとして使うのである。これをメタ道具という(人の気持ちが分かるという「心の理論」は4、5歳から発達する)。

さて、メタ言語にもどろう。メタ言語は、5、6歳から発達するという。メタ言語は、ことばを客観的にみることができるということである。田中昌人氏が自己形成視は5歳半ごろと述べたが、それは自分自身を客観視できるということであろう。だから自分のことばのおかしさ(発音のおくれ、どもり、文法的なおかしさなど)に気づくのもこの時期である。さらにアメリカから幼児期に帰国すると、英語を全部忘れてしまうのに、5~8歳以後に帰国するとおぼえているというが、これは「メタ」とたぶん関係するであろう。

メタ言語(3)

1. 言語の恣意性

たとえば、日本語では犬のことをたまたま「いぬ」というが、英語ではドッグ、ドイツ語ではフントという。それぞれのことばは犬のイメージとはまったく無関係にできているわけである。こうしてみると、ことばはいいかげんなもので、いわば根なし草である。しかし例外はあるといわないと、増田嗣郎氏にしかたられる。それは語感をもとにしたことば、オノマトペ(擬態語、擬声語)からできたことばであり、そのことをオノマトペの有縁性ともいうが、日本語にはそれがかなりあるという。たとえば、ピカリ(光)、キラキラ(きらめき)、スベスベ(滑る)、ビクビク(びっくりする)、キリキリ(錐)などである。日本語だけでなく外国語にもある。たとえば、幽霊という意味の「ghost」は「gheis」(ゲェットと驚く)からきているという。

言語の恣意性は、ことばの意味のあいまいさに通ずる。いくつかの場合を考えてみよう。

(1) 複数の意味を持つ単語

あめ一雨、飴、天、はし一端、橋、箸、梯、くも一雲、蜘蛛

(2) 文字通りでない意味を表す語

彼は石の心臓を持っている(隠喩)。

彼は石のような心臓を持っている(直喩)。

ダークホース(慣用句) —

実力は未知だが、有力と思われる競争相手。

酸っぱい葡萄(慣用句) —

イソップ物語(葡萄をとれなかった狼が悔しまぎれに「あの葡萄は酸っぱいのさ」と)

鬼の居ぬ間の洗濯(諺) —

うるさいやつがいない間に勝手なことをしよう。

とらぬ狸の皮算用(諺) —

まだ手に入らないうちから、それをあてにして儲けを計算したり計画をたてること

(3) 同じ意味を異なる表現で

彼の足を踏んだ—彼は足を踏まれた一足を踏まれたのは彼だ

(4) あいまい文

いわゆる「ぎなた文」といわれるもの。

ここではきものを脱いでください。

わたしはいしゃです。

いぬがねこをうんだ。

悪の十字架→開くの10時か 開ける→あ、蹴る
英語の例をひとつ。The inspector says the detective is fool. これは普通に訳せば「探偵は馬鹿だ」と警部は言っているとなる。しかし、“The inspector” says the detective “is fool”. ときると「警部は馬鹿だ」と探偵は言っているというように意味がまったく逆になる。

比喩、しゃれ、冗談、皮肉、反語、諺などの言外の意味は、いわば「言語の恣意性」からきている。そしてこの部分が完全に意識できるようになるのは10~12歳である。この時期は発達的に考えるとメタ認知(自覚)ができるのに一致している。この恣意性を活用したのが「ことば遊び」である、第5回に紹介する。

2. 文法

言語は単位と単位を結合する規則のシステムであることを認識すること

(1) 単語をモーラに、文を単語に分解できる

鯨→はさみ、魚→さかな

僕は日曜日に映画に行く。

→僕、は、日曜日、に、映画、に、行く。

(2) 文法的誤りがわかる

父さんの公園が行った→父さんが公園に行った

3. 発音

発音の正確さ、流暢度を認識できること。これらについて、伊藤の研究によれば5~6歳でメタ言語意識をもてるという。

サ行がタ行に変換する、カ行がタ行に変換する、などが気になる。「スイカ」を「ススイカ」というとおかしいとわかる。

4. コミュニケーション(語用)

言語はコミュニケーションに使用されることを認識

すること。よいコミュニケーションとは何かは幼児期にはわからない。

- (1) 会話の開始はわかるようにする。
- (2) 会話は交互に行う(ターンテイキング)。
- (3) 話題はしばらく維持する。ころころ変えてはいけない。変えるときはそのむね断る。
- (4) 相手の知識に合わせて分かりやすく話す。
- (5) ことばは適切に返すこと(隣接ペア)。「お名前は?」「3歳でーす」は不適切。
- (6) 言外の意味に注意すること。時計持っていますか=いま何時ですか、この部屋暑いですね=エアコンいれてください。上述の比喩、冗談、皮肉にも注意。
- (7) 適切でないねいさ。目上には敬語を使うが、身内には使わない。
- (8) 会話の終了も適切に。「ジャー、今日はこれで」など。

(参考文献)

- (1) 池弘子ほか訳：子どもの言語とコミュニケーション、東信堂、1994年
- (2) 伊藤友彦：メタ言語意識の発達研究と言語臨床：音韻面を中心に、コミュニケーション障害学26、83-94、2009
- (3) 長崎勤ほか訳：SCERTSモデル・1・アセスメント、日本文化科学社、2010年

メタ言語(4)

これまで3回にわたってメタ言語について述べてきたが、メタ言語能力は何の役に立つのだろうか。メタ言語は言語について論ずる言語であるから、言語発達や言語障害の理解や指導に役立つといえる。できるだけわかりやすくするために、Q&A形式で話を進めることにする。

1. 構音障害とメタ言語意識

Q: 3歳の子どもがチュイカと言っていますが、いつごろ治療をしたらよいでしょうか?

A: 構音障害は原因不明でおこる機能性構音障害が多いのですが、ときに、難聴や口蓋裂、粘膜下口蓋裂が原因となっていることがあります。その場合はその原因をなるべく早期に治療する必要があります。

Q: そのような原因がない場合はどうすればよいですか?

A: たとえば「ス」という発音(歯音)が一般にいつごろから可能になるかを考えると、それは4~6歳です。したがって3歳ではすぐに治療する必要はないわけです。

Q: そのほかに考慮することはありますか?

A: 構音のメタ言語意識の発達は5、6歳です。つまりそのころに自分の発音のおかしさに気づき気に

するようになるわけです。就学半年くらい前の時期なら、治療に対する本人の協力を得られやすくなるでしょう。

2. 音韻意識と読字との関係

Q: 平仮名が読めるようになる前に必要な力は何ですか?

A: 音韻認識が必要です。まず、音韻認識には、シンカンセンという単語を例にとると、シン、カン、センという音節的把握とシ、ン、カ、ン、セ、ンというモーラの把握とがあります。幼児は最初、音節的把握をしますが、しだいにモーラの把握をするようになっていきます。

Q: 音韻意識ができているかどうかはどうすればわかりますか?

A: しりとりができるかどうかをみます。そのほか、たとえば、「さ」のつくことば集めができるかどうかをみます。さる、さんま、さめ、さかな……というように。「せかいのまんなかはなんですか」の質問に答えられれば完璧なのですが、これはおとなでも答えられない人がいます(正解は「か」)。

Q: 幼児は平仮名を読めるようになるのはいくつぐらいからですか?

A: 4~5歳です。

Q: 字を読めるようになると、音韻把握はどのように変わりますか?

A: モーラの把握が増えてきます。

Q: 平仮名を読めない子にはどうすればよいですか?

A: 読めない原因はいろいろありますが、音韻認識につまづきがある場合には、音韻認識を促す必要があります。それには五味太郎氏の「あいうえおかるた」(絵本館)などが推奨されています。「あくび、あざらし、あそびに、あきた」などによって音韻認識を育てるのです。

Q: 仮名单文字ではなくて、単語や文章を習得するにはどうすればよいですか?

A: 原氏によれば、音削除課題(タイコ→イコ)や逆唱課題(ノリマキ→キマリノ)は、単語や文章を読むためのレディネスに関係し、それはワーキング・メモリーの発達が支えているとしています。

3. 日本語の特殊拍のメタ言語意識

Q: 特殊拍とは何ですか?

A: 特殊音節ともいいます。撥音(ん)、拗音(ゃ、ゅ、ょ)、長音(ー)、二重母音(アイ、アウの第2音)などの音をいいます。俳句の5, 7, 5や短歌の5, 7, 5, 7, 7はこの拍を数えたものです。拗音はそのままで1拍にならず、たとえば「ちゃ」で1拍となります。その他の特殊拍はす

べて1拍と規定されています。

Q：特殊拍のメタ言語意識はいつごろ発達しますか。

A：伊藤氏らは、「すいかーすか」「りんごーりご」「ぼうしーぼし」「はっぱーはぱ」において、どちらが正しいかを幼児にたずねました。結果は、特殊拍に対するメタ言語意識が発達している子どもは3、4歳では少なく、構音やことばの流暢性と同じく、5、6歳で著しく発達することがわかりました。ただ促音(っ)は撥音や長音にくらべ意識化が遅れる傾向があります。

Q：就学してからもこの特殊拍を容易に獲得できない子がいますがどうしたらよいですか。

A：まず聴力に問題がありそうなら聴力検査を受けます。つぎにこのような子どもは単語を拍(モーラ)に分解するのが困難で音節に分解してしまうのです。前述の例でみると、すいか(3拍2音節)、ぼうし(3拍2音節)、はっぱ(3拍2音節)となっており、3拍で書くべきところを2音節でかくので、りんご→りごのようになります。つまり音韻認識を音節レベルから拍(モーラ)レベルまで引き上げる必要があるわけです。平仮名をおぼえたてのころの練習(あいうえおかるたなど)が必要かもしれません。り・ん・ごとそれぞれ拍手して音韻認識のレベルアップをはかるのもよいでしょう。

4. 統語(文法)のメタ言語意識

Q：子どもが文法的なあやまりに気づくようになるのはいつくらいからですか。

A：統語のメタ言語意識についての研究は少ないのですが、伊藤氏らは、「赤い花」と「赤いの花」を掲示し、後者のおかしさがわかるのは、音韻と同じく5、6歳ごろとしています。

Q：外国の研究はありますか。

A：須藤氏は「なぜ子どもに英語なのか、バイリンガルのすすめ」という著書の中で、バイアストリック(1987年)の研究を紹介しています。5～9歳の子ども120人を対象にして、次の文章について、意味に関係なく、正しい文章を判断せよという問題を出しました。

- (1) Why is the dog barking so loudly?
意味、文法とも正しい
- (2) Why the dog is barking so loudly?
意味は正しいが、文法は正しくない
- (3) Why is the cat barking so loudly?
意味は正しくないが、文法は正しい
- (4) Why the cat is barking so loudly?
意味、文法とも正しくない

結果はモノリンガルよりバイリンガルの子どものほうが、文法を正しく判断し、すぐれており、幼児期からの英語学習はメタ言語意識を育てるのに役立つとし

ています。白石氏もバイリンガルのほうが認知能力が高いとしています(外国語学習の科学)。しかしこれは因果が逆のこともありえます。

Q：ディスレキシア(読字障害)の子どもたちの治療のひとつとして文法を教えることがあると聞いていますが……。

A：ディスレキシアの中には低次のものと高次のものがあります。前者は文字や単語さえも読めない群、後者は文字は読めるが文書の読解力が劣る群です。後者の群で、対応の仕方は、すでに原氏の提案でふれましたが、その他、①語彙を増やす、②ワーキング・メモリーを強化する、③推論という認知能力を発揮するとともに、④言語知識(つまり文法)を学習するという方法があります。この場合、メタ言語意識の発達の度合いが問題になります。子どもの文法の本を見てもらってもさっぱりということでは問題外です。

5. 知的障害児の構音治療

Q：知的障害児は容易にメタ言語意識を獲得できないとおもうのですが、なにか良い方法があるでしょうか。

A：伊藤氏らはダウン症候群の子を対象に、音声ゲームソフトを用いて一定の成果をあげています。堀田氏は「言葉遊び歌」による、ダウン症候群児の言語指導例を報告しています。言葉遊び歌によって音韻認識を高めるのです。言葉遊び歌の作り方は、①3、3、7拍子でつくる、②ことばは日本語のアクセントに従う、③使う音階はソ、ラ、ミの三つ。例示すると、「あ、あ、あひる、あひるはおよぐ」「あ」の認識の強化(ソ、ソ、ソララ、ソララソラミ)となります。音韻認識を育てるのに、前出の五味氏の「あいうえおかるた」のほか、「学研のことばかりた」(学研)、「2歳からのひらがな」(公文)、「なぜなぜ幼稚園」(高橋書店)などがあります。

6. 語用とメタ言語意識

Q：語用とはどういう意味ですか。

A：言語の使用のことです。言語理論の中には、意味論、統語論、音韻論、語用論とあります。このうち前三者はいずれも正確さを必要とするのに対して、語用論は適切さを必要とします。Q「お名前は？」A「3歳です」において「3歳です」は統語論などからみれば正確で問題ないのですが、語用論からみれば不適切です。語用論の詳細については文献に譲るとして、つぎに、いくつかの例を示すことにします。

自閉性障害においては、語用論的困難があるといわれます。

「ここで待ってなさい」「ここってどこ？」

「明日ここで会おう」というよりは「10月26日にテレビ塔で会おう」のほうがわかりやすい。

ここ、そこ、あそこというのは一般的には物理的距離できまります。話し手からみて最も近いのがここ、次はそこ、最も遠いのはあそことなります。ところが、

歯医者「ここ痛いですか？」患者「そこ痛いです」

母親が娘に背中をかいてもらって、丁度よいところをかいてくれたとき「そこ、そこ」といいます。自分の一番近いところだから本来なら「ここ」となるところだがどうして「そこ、そこ」になるのでしょうか。それは第2者が関与しているからです。

A「谷啓さんが死んだよ」B「あの人がいつだった？」共通の理解があるときは「あの」になります。

A「エノケンは大偉なる喜劇役者だったよ」B「その人はどこで活躍したの？」共通の理解がない場合は「その」になります。

以上は語用論におけるメタ言語意識であるが、簡単なだじゃれ（でんわにでんわ、おやまにふとんがふとんだおやまあ、てっぽうかついでとっとりけんなど）を理解できるのは、6、7歳、婉曲表現（のどがかわいたけどなど）が増えるのは6、7歳ごろなどからみて、語用論のメタ言語意識も言語の他の分野と大差はないと思われる。しかし程度の高いしゃれ、冗談は10～12歳（メタ認知が発達するころ）ぐらいでないといわれている。

（参考文献）

1. 小泉保：入門語用論研究－理論と応用－、研究社、2001
2. 伊藤友彦：メタ言語意識の発達研究と言語臨床：音韻面を中心に、コミュニケーション障害学26、83～94、2009
3. 堀田喜久男：「言葉遊び歌」が発語を促す、明治図書、1992
4. 五味太郎：あいうえおかるた、絵本館、2004
5. 唐須教光：なぜ子どもに英語なのか、バイリンガルのすすめ、NHK、2002
6. 白井泰弘：外国語学習の科学、岩波書店、2008
7. 原恵子：健常児における音韻意識の発達、18、10～18、2001
8. 学研のことはかるた、学研、2003
9. 2歳からのひらがな、公文、2004
10. 川上ケイ（作）、小酒井久子（絵）：なぞなぞ幼稚園、高橋書店、1992

メタ言語（5）ことば遊び

ことば遊びとは、言語をメタ言語意識で楽しむことをいう（筆者の定義）。

「ぱんつくったことある？」

この文章はふつうに考えれば「パン作ったことある？」という立派な対象言語である。しかしメタ言語意識をもってこの文章を見ると、「パンツ食ったことある？」という非現実的な意味に解することもできる。

現実－非現実の対象が面白さのひとつであるとするのは小泉氏の説である。快感、笑いが生ずる。笑いは免疫を強化し、病気に対する抵抗力を強める。

小泉氏は、ジョークや落語におけるオチの本質を次の図式にまとめることができ、同一の話題において、上位項と下位項を対立させ、上位から下位に意図的に落とす技法としている。

話題	上位項：非性的、非金銭的、生、真、可能、常識的、現実的
	下位項：性的、金銭的、死、偽、不可能、非常識的、非現実的

ジョーク、落語、小噺などと次にあげる「ことば遊び」とはいくらか違うが、その面白さの根源の理解には前述の図式は役に立つと思われる。

さてことば遊びに入るが、その種類は実に多い。

きちんとした分類はないと思うが、とりあえず筆者が試みたものを記すことにする（落語では分類したものがある）。

1. 単語や文章の配列や切り方を変えるもの。

（1）回文

前から言っても後ろから言っても同じ文章

たけやがやけた

へいのあるあの子へ

Mad a m. I'm Adam.

漢字の地名：

郡上郡、市川市、東関東、亜細亜

ローマ字表記：

IKAYAKI（いかやき）、AKASAKA（赤坂）、

NISSIN（日清）

漢字のことば：

日曜日、水道水、味噌味、日本の本日

（2）たいこめ

終わりから読むと違う意味になる文章

鯛釣り船に米押しだるま

美しい国（にくいし、苦痛）

関空よりハノイ、四日？うそ！？

（そうか強いのは遼君か）

（3）アナグラム

文字の配列を変えて別の意味のことばにする。

聖徳太子→衣装得した

田中角栄→内閣変えた

小沢一郎→終わろう一座

サンタが街にやってくる

→日夜待ってサタンがくる

（4）ぎなた読み

文章の切り方で意味が変わるもの

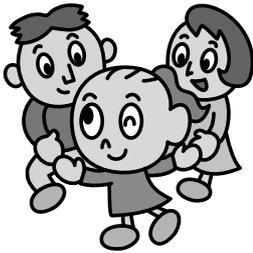
弁慶が、なぎなたを振り回し振り回し

→弁慶がな、ぎなたを振り回し振り回し

ここで、はきものをぬいでください

→ここでは、きものをぬいでください

わたし、はいしゃです
 →わたしは、いしゃです
 いぬがね、こをうんだ
 →いぬが、ねこをうんだ
 パン、作ったことある？
 →パンツ、食ったことある？
 ねえ、ちゃんと風呂はいつている？
 →姉ちゃんと、風呂はいつている？
 No, too expensive (だめ、高価すぎる)
 →No too expensive (構わない、買いなさい)
 飽きた→あ、来た。会いたい→あ、痛い。これらは方法詩を提起している篠原資明氏の超絶短詩と見ることもできる。次のようにしてつくる。発達→はっ、立つ



2. 同音、類音

(1) パロディ

よく知られた作品の文体や韻律を模し、内容を全く変えて滑稽化し、風刺化した作品
 泣く子は目立つ (泣く子は育つ)
 腐ってもったいない (腐っても鯛)
 今朝も元気だタバコ買うまい
 (今朝も元気だタバコがうまい)
 (括弧内が元)

(2) もじり句

滑稽や風刺のために、もとの文句をいにかえる。最初の文句の終わりを言い換えたものが次の文句の始めになる。

天満宮 菅原神の (巢が藁紙の) 鼠穴
 ご先祖様 有難かりし (蟻がたかりし) 瓜の皮
 焼き鳥の 北の呑み屋の (北野の宮の) 桜花祭
 お でん (電) 車
 (豊橋の電車を利用したビヤパーティー)
 あたり まえだ (前田) のクラッカー
 滑って転んで おお痛 (大分) 県
 (以上はいずれも、真ん中の句が前後の両方の句にかかる)

(3) なぞなぞ

前もって用意したことを、ほかのことで問いかけて、それを当てさせる遊び
 ソファの下になにがある？ (ミレド)
 空の上になにがある？ (シド)
 世界の真ん中にある昆虫は？ (か=蚊)
 ゆうごはんはなんじですか (5字)

(4) なぞかけ

なぞなぞの一種といえることば遊びである。な

ぞなぞを「単式なぞ」あるいは「2段なぞ」とすれば、なぞかけは「複式なぞ」あるいは3段なぞと呼ぶこともある。

商店街とかけて音楽と解く。その心は「いろんな(店舗、テンポ)がある」
 貨幣とかけて、薬と解く。その心は「こうか(硬貨、効果)がある」
 ごまとかけて、弓矢と解く。その心は「どちらもいるんです」
 窓とかけて、笛と解く。その心は「どちらもふくんです」

(5) 空耳

① 日本語に聞こえる英語

Sightseeing ten days. (10日間観光)
 →斉藤寝具店です
 I surrender. (降伏する) →愛されんだー
 You have a computer. →夕飯は干瓢だ
 Have a nice day. →幅ないっすね

② 英語に聞こえる日本語

揚げ豆腐→I get off. (次、降ります)
 夕方減入る
 →You got a mail. (メールが届いています)
 掘った芋いじったな
 →What time is it now? (今、何時?)
 辛いです→Try this. (ためしてみよ)
 湯のみ
 →You know me? (私を知っていますか)
 ハマチです
 →How much is this? (これはいくらですか)
 巨乳好き
 →Can you ski? (スキーができますか)

③ いんちき英語

おすとあんでる (饅頭)
 ひねるとじゃー (水道)

(6) 語呂合わせ

ことわざや成句などに口調・音声を似せて、意味の異なる滑稽な句を作ることば遊びの一種
 下戸にご飯 (猫に小判)
 ひとつ脱いでは質の種
 (ひとつ積んでは父のため)
 (括弧内が元の句)

(7) 地口

ことわざなどに同音または声音の似通った別の語をあてて、違った意味を表す洒落
 着たきり娘 (舌きり雀)
 年の若いのに白髪が見える
 (沖の暗いのに白帆が見える)
 花より男子 (花より団子)
 (括弧内が元)

(8) しゃれ

・エレベーターが4階から5階にうつりそうだ

った。2人の男がいた。男A「君は最近浮気をしとるそうだね」男Bは怪訝な顔をしていたが、ちょうどその時エレベーターのスピーカーが鳴った。「ゴカイデース」

・「不思議の国のアリス」の著者ルイス・キャロル（古典論理学者）は「しゃれ」が好きで、頻発していたようです。

アリス「陸がめじゃないのにどうして陸がめって言うの？」

にせうみがめ「僕達を教えていた（taught us = tortoise = 陸がめ）からだよ」

(9) 駄洒落

洒落より単純。文脈に位置づく必要はない。

おやまにふとんがふっとんだ、おやまー
でんわにでんわ
ねこがねこんだ
お母さんはフグにおこるから、私最近シジミ
がちなの
早くトイレに行っトイレ
鉄砲かついで、鳥取県

(10) 言いまづがい

合い挽き、3びきください。

ジョージのジャージを忘れた。（ジョージの上下）

うでんにのれおし（のれんにうでおし）

まぐろと食べたい。（丸ごと食べたい）3歳

小さくなくてもズボンと同じ！名探偵コナン！！

（正しくはズボン→頭脳）6歳

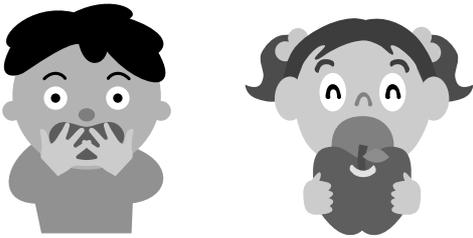
音韻練習のとき

「あいの『あ』、「いぬの『い』」

ねこのところで「にゃんこの『にゃ』」3歳

「ブッチャパッチャップ」（チッパチャプス）3歳

「たのしらかった」（面白かった）幼稚園児



3. 矛盾

無理問答

駄洒落を使ってみた場合に字面と実態が合わないことば遊び

居ても居ぬ（犬）、来ても去る（猿）

一人でも千人（仙人）、有っても無し（梨）

なざら健言歌う「ひらけ！ポンキッキ」の

挿入歌「いっぽんでもにんじん」

いっぽんでもにんじん

二足でもサンダル

三艘でもヨット

四粒でもごましお・・・

4. その他

(1) 折句

あいうえお作文ともいう。

からころも きつつなれにし つましあれば
はるばるきぬる たびをしぞおもふ

いわずと知れた有名な「かきつばた」（在原業平、伊勢物語）の折句。

詩人谷川俊太郎氏の折句

あくびがでるわ

いやけがさすわ

しにたいくらい

てんでたいくつ

まぬけなあなた

すべてころべ

作曲家いずみたく氏のミュージカル創作百本記念の祝宴での折句（小田島雄二氏）

いつまでも

ずーとやってよ

ミュージカル

たのしいゆめを

くりひろげてよ

筆者の折句。東海ラジオが出題し、放送されたもの。お題は「どれみふぁ」。

どどんとなった れんぞくはなび

みんみんぜみの ファンファーレ

どうぶつえん れおと みんくは

ファーストクラス

歌では「ドレミの歌」や数え歌

（一番初めは一宮、二は日光の東照宮・・・）。

数え歌は、ある規則のもとに作られることば遊び（交叙法）とも見られる。

(2) つみあげ歌

これは僕の帽子

これは僕の帽子に飾った花

これは僕の帽子に飾った花の上の空

これは僕の帽子に飾った花の上の空にある雲・・・

(3) アンビグラム

字を回転（180度、90度）、

「dn」（下）

→垂直軸と水平軸で180度回転すると→「up」

「CHOICE」→鏡像でも→「CHOICE」

(4) 入れ詞

のさことばのようなもの

わのさたしはだのさいがくせいです

（私は大学生です）

このさえはきのされいです

（この絵はきれいです）

さて、ことば遊びは以上のように非常に多い。これらのほとんど大人用のものであり、子どもではむずか

しい。一部を除き10～12歳以後でないとうからないであろう。ことば遊びの効用は何であろうか。

- ①楽しいことである。最近、漫才師のWコロンのおかげで、なぞかけ（ととのいました）が流行っているが、楽しみながら頭を使うことができる。
- ②体の免疫系を強化し、病気に対する抵抗力をつける。
- ③認知症の予防・治療に使えるかもしれない。
- ④おとなのアスペルガー症候群の改善に役立つかも知れない。アスペルガー症候群は特徴のひとつにシングル・フォーカス（単焦点）がある。ことばの一面的理解に走りやすいのである。メタ言語認識は、ことばの表裏を考えるのに役立つ。
- ⑤阿刀田高氏は、（ことば遊びを）広く探ることは、日本語への関心、知識、愛情を深める道へ庶民レベルにおいて通じている、と私はそのことを疑わない。日本語の危機を救えるかもしれない、と述べている。

今回は最終回であるが、子どものことば遊びとその効用について述べたい。

（文献）

- (1) 青山由紀：まんがで学ぶことば遊び、国土社、2007
- (2) しばはら・ち：おしゃれなだじゃれ、汐文社、2003
- (3) 野村雅昭：落語のレトリック、平凡社、1996
- (4) 桂枝雀：らくごで枝雀、筑摩書房、1993（元はPHP研究所、1982）
- (5) 小泉保編著：入門語用論研究、研究社、2001
- (6) 宗宮喜代子：アリスの論理、不思議の国の英語を読む、NHK出版、2006
- (7) 多治家礼：ダジャレ練習帳、角川事務所、2001
- (8) Wコロンのととのいました、東邦出版、2010
- (9) 阿刀田高：ことば遊びの楽しみ、岩波書店、2006
- (10) インターネット上の多くの「文献」には筆舌に尽くしがたいほど助けられました。もしその助けがなければ、この小文は日の目をみることはなかったでしょう。記して感謝します。
- (11) なかたみかこ文、といまき絵：まさかサカサマ回文ゲーム、汐文社

メタ言語（6）終章・子どものことば遊び

以前、幼児期からの英語学習はメタ言語意識を促すという意見を紹介した。確かにそう思う。しかし、ことばについて考えるということであれば、英語学習でなくともよいのではないか。つまり、幼児期から楽しみながらことばについて考える遊びをすればよいということだ。そうすれば子どもの考える力を楽しみながら伸ばすことになろう。それが幼児のことば遊びの意義だと筆者は考える。

Q：ことばの「しゃれ」が分かるようになるのはいつごろからですか。

A：すでにメタ言語（4）で述べたように、ことばの大部分のメタ言語意識が育つのはほぼ5、6歳です。しかし、ことしゃれについてはいくらか遅れるような気がします。しかししゃれよりもっと簡単な「駄洒落」なら、5、6歳で分かると思います。

おやまにふとんがふっとんだおやまあ
でんわにでんわ
ねこがねこんでいる
わたしきぶんがしじみがちです
といれにいっといれ

実際に、小学生がつくったものとして次のようなものがあります。

太陽を見ると目が痛いよう（小1）
朝会で背中がちょーかいー（小1）
凶工の教科書がずっこうけた（小2）
平均台に乗っても平気んだ（小2）

これらは同音意義語の面白さを楽しんでいるという点では、大人の「しゃれ」と本質的には同じです。

Q：ことば遊びと関連して、ことばには**間接発話**とか**婉曲表現**というものがあると聞いていますが、子どもはいつごろからそのような表現ができるようになりますか。

A：そうです。同じ表現で別の意味を表すという点ではことば遊びと同じです。文献的には3～5歳ぐらいから見られるようになりますが、急に増えるのは7歳ぐらいです。

あのセーターは私の新しいスカートによく合うだろうな。
ああのどがかわいた。
（夏場）お茶がぬるいね。

Q：そして大人と同じようなしゃれが分かるようになるのはいつごろですか。

A：メタ認知といって自分や他人の気持ちが分かるということが飛躍的に発達する10～12歳ごろだと思います。

Q：そこにいくまでに適切な幼児のことば遊びにはどんなものがありますか。

A：発達に合った手遊び歌、おうむ返しゲームは何歳の子どもでも適しています。手遊び歌は歌とスキップの効用があります。おうむ返しゲームは「短時間記憶能力」を養います。また**作業記憶**（～しながら、～する：4歳ごろに発達）の強化に役立つでしょう。そのうえで年齢別では—

～3歳

・おうむ返しゲーム

おうむ返しゲームとは、数とか文章を復唱する遊びです。

「58」「72」「39」（2歳）

「741」「968」「253」（2歳半）

「ぞう」「カンガルー」「アイスクリーム」「どろ

ぼう」

3～4歳

・おうむ返しゲーム

「犬はよく走ります」「今日はよいお天気です」
「夏になると暑い」（3歳）
「4739」「2854」（3歳半）

・比較概念が発達してくるころですから、反対ことばもよいでしょう。

「大きいの反対は？」「長いの反対は？」
「お腹は前、背中は？」
「お母さんは女、お父さんは？」

・電話ごっこは対話能力を養います。

・ことば間違い探しは、文脈の問題です。ことばの使用と関係します。

「さあ、ごはんを食べましょう、こんにちは」
「お出かけしましょう、いただきます」
「朝起きたら、ただいま」
「夜寝るときは、お早うございます」

・語頭音遊び。これは音韻認識を育てる問題であり、平仮名読みの準備として大切。

「さ」のつくことばを集めよう。
「さかな」「さんま」「さあ」・・・

4～5歳

・おうむ返しゲームとしては、簡単な逆唱（逆さことば遊び）が音韻意識を育てます。

りんご→ごりん、7639→9367

・なかまあつめ

これは3歳くらいから発達してくる概念形成の問題です。

最初に「あ」のつくことば、これは前述の語頭音遊びと同じです。

赤いものを集めよう。

最後に「か」のつくことば

パンはパン屋さんで売っていますか？

フライパンはパン屋さんで売っていますか？

・しりとり

これは音韻認識を育てる問題で、平仮名読みの準備として大切。

りすーすいかーカメラーラジオーおとこ・・・

・間違いことばさがしは助詞の問題だから文法の問題。

「ぞうをりんごはたべます」

「赤ちゃんをなきます」

「公園は子どもをいます」

5～6歳

・おうむ返しゲーム

「31759」「52479」（6歳）

・次の間違いことば探しは数え方（助数詞）を見ている。1本でもにんじん、二足でもサンダル・・・の面白さが分かるでしょうか。

「画用紙1本」

「りんごがひとり」

「犬が1個」

「本が1匹」

「子どもが1枚」

・同じことば（同音意義語）を集めよう。これもメタ言語意識を必要とします。

あめ→雨、飴

はし→端、橋、箸

きる→切る、着る、斬る

・なぞなぞ

これも答えが駄洒落のことが多いから、メタ言語意識を必要とします。

「そのうえになにがある」（答え シド）

「そふぁのしたになにがある」（答え ミレド）

「ためきがたまごをもってだれかのところにいきました。だれのところでしょうか？」

（答え まご一孫）（たまごから「た」を抜く）

「せかいのまんなかにあるこんちゅうは？」

（答え か=蚊）

「つくえがくさるとなになになる？」

（答え つえ）（く去る）

一般のなぞなぞが難しい場合は限定なぞなぞ（植物や動物）にするとよいでしょう。

・語の定義

机とは何ですか？

電話とは何ですか？

鉛筆とは何ですか？・・・

以上のようなことば遊びがあります。

さて、復唱問題は2歳半くらいから始まるが、このころにメタ言語意識はあるだろうか。とにかく該年齢で6～7割の子どもはこの課題をこなすことができる。ところがここに奇妙な現象がある。それは発達に遅れないアスペルガー症候群の幼児のなかに少なからずこの課題でつまずく子どもがいる。「同じ」が分かるのは1歳9ヶ月ころである。他の言語課題はすべてできているのである。ここで今までみてきた全課題を言語理論にあてはめてみるとどうなるであろうか。

文章の復唱、比較概念、なかまあつめ、同音意義語、なぞなぞ、定義などは意味論、間違いことば探し（助詞）、助数詞などは統語論、数唱、語頭音遊び、しりとりなどは音韻論、電話ごっこ、ことば間違い探し（文脈）などは語用論に分類されるのではないだろうか。それぞれの領域においてメタ言語意識の発達を見ていくことが今後の課題である。

（参考文献）

①長谷川義史：だじゃれ日本一周、理論社、2009

②インターネット、Kids Canvas：EQ・IQを伸ばす幼児の知恵と幼児教育

③新版K式発達検査

平成23年度 西部地域療育センター連続講座のご案内

第1回 講演会

講 師 西部地域療育センター 言語聴覚士 山口 大輔
「幼児期のコミュニケーション支援」
日 時 平成23年6月24日(金) PM3:30~5:00
会 場 西部地域療育センター1階 多目的ホール
対 象 保育園、幼稚園、小学校、療育施設、関係機関の職員のかた

..... 講師からのコメント

お子さんのコミュニケーションの成長には、様々な能力が関わってきます。特に、周りのひとに注意を向けて、意思のやりとりをする力は、周りのひとから新しいことを学習する構えにつながっていく点でも大事な力と言えます。今回の講演では、お子さんそれぞれのコミュニケーション面の特徴を捉えて、どのように支援していくかについて、お話する予定です。具体的には、就園前後の年齢のお子さんについて、やりとりの土台を作っていく促し、就学前の年中・年長頃のお子さんについて、会話のやりとりの発達、学習支援のコツ等、ご紹介する予定です。

第2回 通園部一日体験

日 時 ①平成23年8月19日(金) AM9:00~PM5:00
②平成23年8月22日(月) AM9:00~PM5:00
③平成23年8月23日(火) AM9:00~PM5:00
④平成23年8月25日(木) AM9:00~PM5:00
会 場 西部地域療育センター内通園部「キララ」
対 象 民間保育園・幼稚園の職員のかた

療育グループ体験

日 時 ①平成23年7月19日(火) AM9:00~12:00
②平成23年7月20日(水) AM9:00~12:00
③平成23年7月25日(月) AM9:00~12:00
会 場 西部地域療育センター療育グループ
対 象 民間保育園・幼稚園の職員のかた

ボランティア募集

保育場面での手助け(室内の活動、園外への散歩など)
教材づくり
保護者活動時における療育児のきょうだいの保育
センター行事(運動会、夏祭りなど)のお手伝い
その他、園の環境整備など

■お問合せ・お申込み■

名古屋市西部地域療育センター